履いてください、鷹峰さん
haite kudasai takamine san
⑤
柊裕一
Yuichi Hiiragi

履いてください、
鷹峰さん
Haitekudasai
Takaminesan

履いてください、
鷹峰さん
Please put on. Takamine san
柊裕一
Yuichi Hiiragi
5

Contents

午後から夜にかけて雨の予報だったけれど…
もう上がったようね
傘を持ってきた意味が無かったわ
鳥善
暖かくなってよかったじゃないですか
まあね…下ろしたてのブレザーを濡らさずに済んだし
第26話
雨降って白田固まる

私　この冬服好きなのよね
確かに　ウチの制服人気あるみたいですね
デザインという面もあるけれど
クロ田君が手に入る以前は色々お世話になったのよ
?
能力を連続(パンツとブラ)で使用した場合
夏服だと汗などで透けてしまう恐れがあるでしょう?
だからなるべく一度(パンツ)使用するたびに着替える必要があったのだけれど…

ブレザーを着ていれば
透けを気にする必要が無いから
気兼ねなく連続使用できたのよ

ははあ…

NP・NB状態だったってことー!?
白田君？
何？ その輪をかけた
腑抜けな顔は
いっ
!!
わざわざブレザーの
有用性を説明して
あげているのに
私の話が
退屈だとでも
言いたいのかしら？
いいい
いやッ
そんな事は…

…それなら退屈しのぎにゲームでもしてあげようかしら？
ニヤリ
は　はい？ゲーム…？

少し向こうを向いていなさい
は　はい…？
——？

能力で「傘を持ってこなかった」ことにしたわ

さて問題よ

私はパンツとブラ、どちらの下着を脱いで能力を使ったでしょう？

はい——!?

推測と言っても外見じゃわからないし…
ゲームというより二分の一の賭けにしかならないんじゃ？
また…そんな謙遜しないで頂戴
謙遜？
白田君のむっつり力を以てすれば例えば衣擦れの音から乳首がシャツに擦られているか否か——
足運びの微妙な差異からパンツを履いているか否かくらい簡単に推測できるでしょう？
超能力者か何かですか!?
ていうかむっつり力って何!?
まあ仮に推測できなかったとしてもそれこそ二分の一で私に何か命令できるのよ？
例えば——

次の勉強会
水着で教えてほしい
――とか
白田君如きが
私に命令できるなんて
一生涯訪れないチャンス
じゃないかしら?
如きって…
ていうかそんな命令
しませんよ
――!?
会長は
勝ったら何を
命令するつもり
なんですか?
…そうね
仮に水着で勉強会と
同程度の命令と
するなら――

目と口を縫い合わせて両手を拘束し
耳にはヘッドホンを溶接して
一生私の声以外知覚できないように
なってもらおうかしら

猟奇的!!

全然釣り合いが取れてないじゃないですか!!

ああ そうよね…
私の水着姿に比べたら
軽すぎるわよね。
まあサービスということで。

僕の人生の価値とは!?

…正解は三分の一…
つまり上下の下着のうち
どちらかの有無を確かめられれば
確実に正解できるんだけど…
問題はどうやって確かめるか…
無
無

例えば シャツの隙間から
ブラの有無を観察するとか…

…変質者だ…

それに そんなことしたら
ガシガシいじられるんだろうし…

あら 堂々と凝視するなんて
ムッツリ白田君から
ガッツリエロ田君に
ランクアップしたの？

お祝いに
強制わいせつ罪の称号と
お巡りさん特製の
格好いいブレスレットを
プレゼントするわ

どうしたら……

あの水溜まりを跨いだ瞬間ーー

水面に反射したスカートの中を見られるんじゃーー!?

じゃあ…能力で下の方を
脱いでいたら…
水面には——!!

さあ　タイムアップよ
回答をお願いするわ
脱いだのは
上下のうち
どちらの下着でしょう？
…脱いだのは――……
上の方です！

──残念。
脱いだのは下よ。

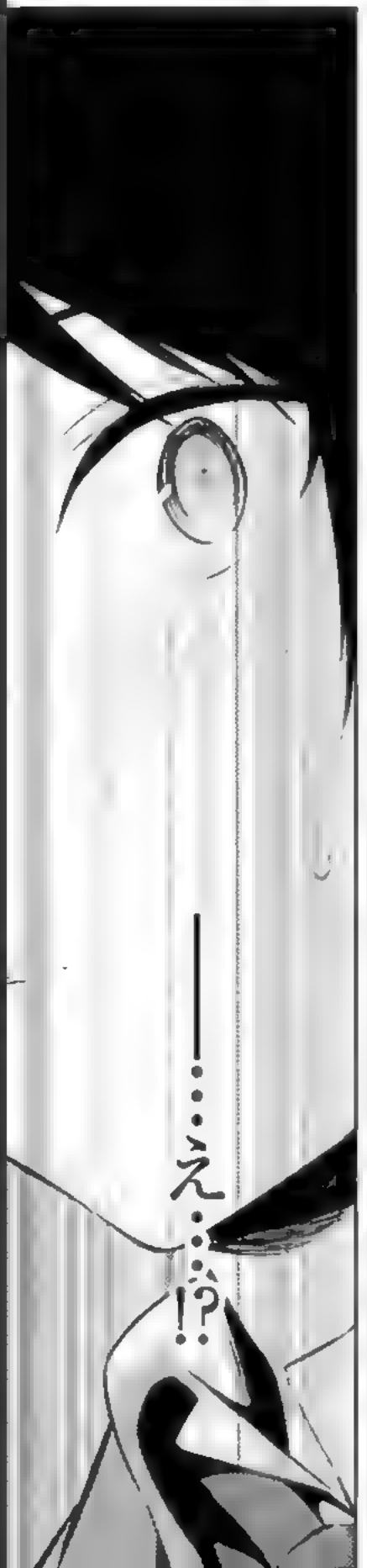
ちらっ

──!!

いや…気づいてたんですよ!?
水溜まりの反射…!
でも
見られなかったんです…!
だって 会長が気づいてないのに
覗き見するなんて…
そんなコトして正解したって
後味が悪いし…
…まあ
それでも一択を外すのは
流石僕って感じだけど…
でも 正直少し残念だわ
ちょっと興味があったのに
興味?

白田君が勝ったら
どんな淫猥な欲望を私に
叩きつけてくるのか。
なぜいかがわしい命令
するコト前提なんですか!?

そのために
わざわざ色んなヒントを
出してあげていたのに
?
ヒントですか?

そう
例えば——
水溜まりの反射…
とか

——…え…!?

こ…この人…
うっかりじゃなく
意図的に水溜まりを――!?

履いてください、鷹峰さん

Haitekudasai Takaminesan

文化祭当日──
ザワ
ガヤ
ガヤ
ガヤ
午前の上演まであと3時間です
直前に1時間 最後の台本読みを行うのでそれまでの2時間は自由行動にしましょう
はーい

第27話
予行演習(よこうえんしゅう)をさせてあげるわ

あれ？ 王寺いなくね？ 遅刻？
主役のクセに余裕だなー
……

……やばい……めちゃくちゃ緊張する……!!
既に冷や汗が止まらないんだけど……!!
僕の役セリフ2つしか無いのに……
ドキドキドキドキ

白田君ちょっといいかしら？
はっ はい？

ザワ
ザワ
あ あの会長
どこへ…？
あまりに
緊張しているから
放っておけなかったの
何か出し物でも楽しんで
リラックスなさい。
付き添ってあげるから
ザワ
ザワ
え…
僕のために気を使って――…？

ギロ

私が主役の舞台なのよ？

居ても居なくても大差ない端役とはいえ一点でも泥を塗るような真似は許さないから

ですよね…

…しかし――

どこか人目につかないところは…

！

そ それじゃ
ここ入って
いいですか!?

ええ
どこでも
構わないわよ

あ

逃げた!?

ここは蜘蛛の館──

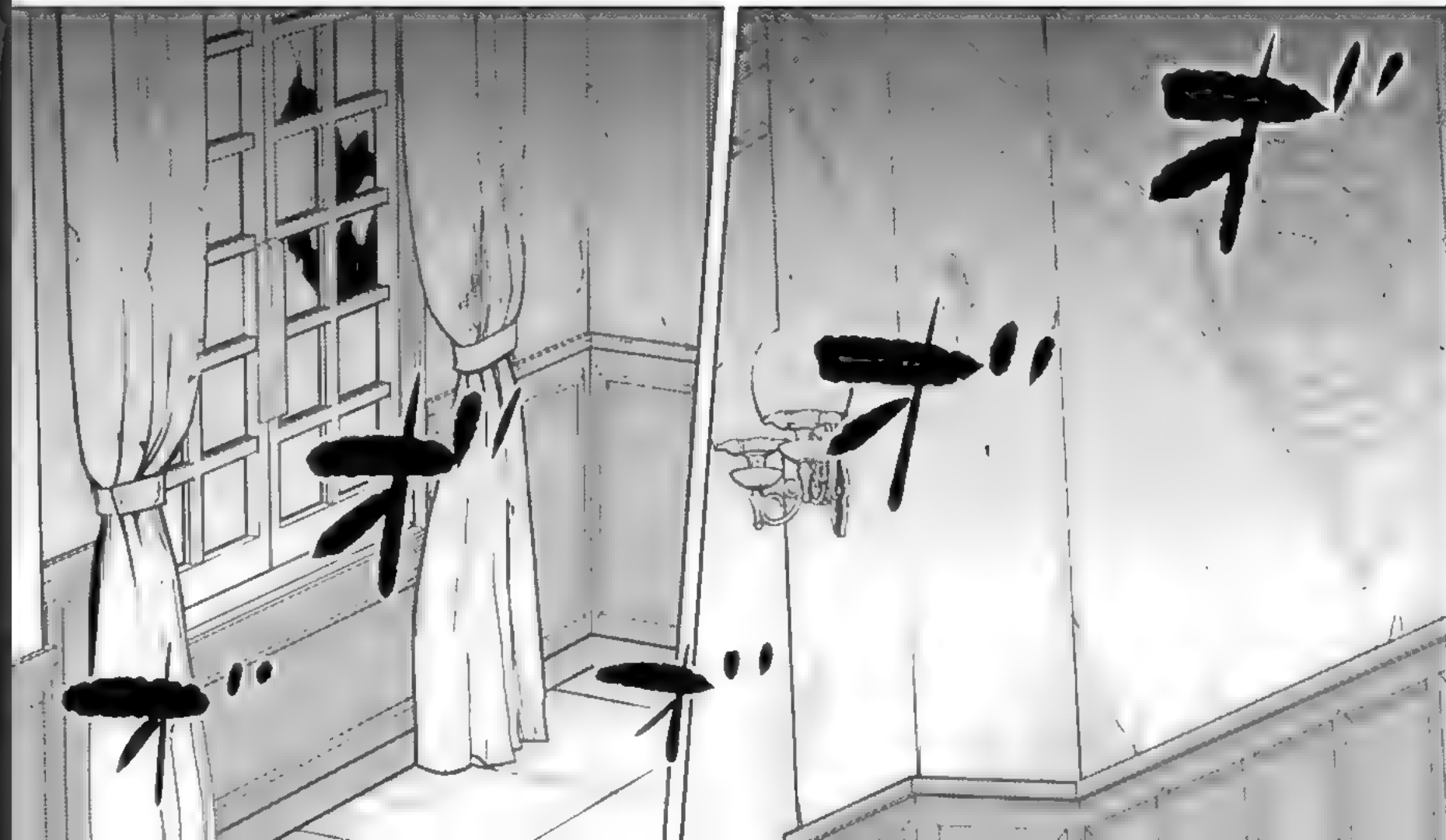
訪れた者みな怪奇なる蜘蛛の呪いを受けるであろう…

それでもなお立ち入るというのなら…覚悟して進むがよい…──

……
ザッ
!?
ザッ
ザッ
ザッ…

も…もしかして会長こういうの苦手だった…!?
そういえばカミナリ苦手だったし…ドッキリ系とか弱いのかも…

あ あの会長
もし苦手だったら出ましょうか
!

は…?苦手…?
私がこんな作り物に恐れをなしているとでも言いたいの?
スタ
スタ
言っておくけれど私がこの世で唯一恐れているものがあるとするならば…それは私自身の才能よ

立ち去れえええ!!
この館に入ってはならんんんん!!
いやあああ!?
ここは蜘蛛の館――
訪れた者みな怪奇なる蜘蛛の呪いを受けるであろう…
それでもなお立ち入るというのなら…覚悟して進むがよい…――
……
あの…会長やっぱり出ましょうか…

下方比較よ

自分より狼狽する他者を見ることによって精神的余裕を得られるの

あなたの緊張を解すためわざと大仰に驚いて見せてあげたという訳。どう？ リラックスできたでしょう？

ぷぅ

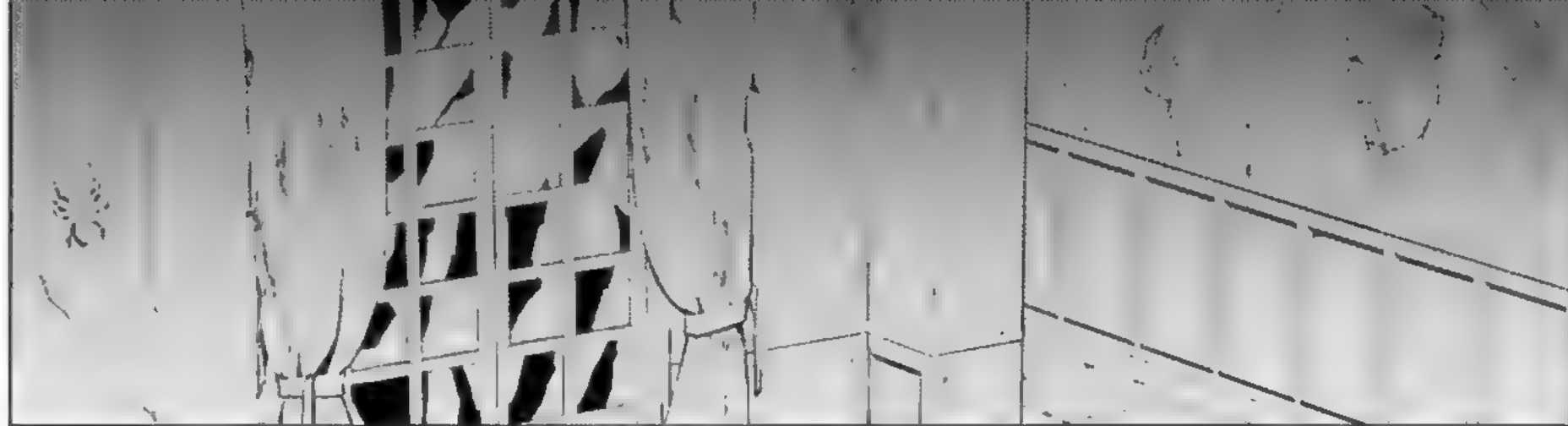
ぷぅ

ぷぅ

下方――？

ほ…本当――？

助けてくれぇぇぇぇ
身体から蜘蛛が…
蜘蛛の呪いだぁあああ
わっ
!?
しししし白田君ッ
ううう後ろッ後ろッ!!
蜘蛛ッ蜘蛛ッ
!?
まッ
待って──

だッ大丈夫白田君!? 蜘蛛は!? 呪われてない!?
!?
ばっ
大丈夫です会長! おッ落ち着いて!
ほら ここお化け屋敷! 作り物ですから!
——え?
ここは蜘蛛の館——
訪れた者みな怪奇なる蜘蛛の呪いを受けるであろう…
……
それでもなお立ち入るというのなら… 覚悟して進むがよい……——
下方比較よ
覚えの悪い白田君のために2度演じてあげました。
苦しい——!

…会長…
苦手なお化け屋敷につき合ってくれてまで
僕をリラックスさせようと
してくれてるんだよな
主役の会長に比べたら
僕の緊張なんて大したものじゃ
ないんだよな…
…会長のためにも舞台成功させたいな…
…にしても
お化けが苦手な会長…可愛いな
会長には悪いけど…
ふふっ
…何を
へらへらしているの
先行してエスコート
するぐらい
気を利かせられないの
かしら
あ…スイマセン…
まったくー
ギ
?

ギギギギ…
きゃあああああああああ
ビ
!?
くくく
蜘蛛ッ蜘蛛ッ
かッ会長…
落ち着いて…
わああああああ
こ…これ…

着けてない胸が密着して…！
おお大きい蜘蛛ッ
おっきい蜘蛛がッ足にッ!!
だだ大丈夫ですよ！
たぶん生徒が仮装してただけです!!
スーッ

ひ——

ひああああああああっ!!
!?

待ってください
会長!!
走ったら
危ない…
——って…

白田君ッ
カッ身体が動かないの!!
呪い!? 金縛り…!?
落ち着いてください
蜘蛛の巣のセットに
絡まっただけですよ!!
前向かずに
走って突っ込んだんじゃ
ないですか!?
ギッ
ええええええ――!?
……!

…まあ これくらい驚いて
見せてあげれば
このクラスの生徒達も
喜んでくれたんじゃないかしら？
この期に及んで強がりを⁉
待っててください
すぐ解きますから…
う…
結構絡まって…
キャ…
ア…
きゃあっ⁉
足掴まれた！w
⁉
次のお客さんに追いつかれた⁉
うわッ
あぶなっ
や…やばいぞ
こんな恰好の会長を誰かに
見られたら…
え…あれっ⁉
か 会長…⁉
あ…えっと…
ぜ…前衛的っすね～…
会長の清廉なイメージが崩壊する…‼
ど…どうする…⁉
どうすれば…‼

呪いを恐れぬ愚かな侵入者どもよ…

お前も蜘蛛人間にしてやろうかぁあ…

ズ

ズ

ズ

急にクオリティ下がってね？
笑うわｗ
…もう少しマシな案は無かったのかしら…
すいません…

ガヤ
ガヤ

スイマセン
僕のためになんだかいろいろと…
トラブルか…
ガヤ
ガヤ

何を勘違いしているかわからないけれど全て私の思惑通りよ
へ？

結果として
お化け屋敷でリラックスできた上に
「人前で演技」していたことに
お気づきかしら?

緊張を解いたことに加えて
ハプニングに見せかけ自然に
演劇の予行演習まで
させてあげていたのよ?

な…なるほど…
ありがとうございます

よくそれらしい言い訳が
出てくるなー!!

どうかした？
あッ会長！
それが…
王寺がまだ
登校してないみたいなの！
——え？
欠席の
連絡は？
……入ってないんだけど
携帯も繋がらなくて
王子がいなきゃ
シンデレラ成り立たないぞ⁉
ザワ
ザワ
ザワ
やあ すまない
待たせたね
王寺！
お前心配させ
んな——

プル
いや ちょっと車にぶつかってしまってね
ダンプに
ダンプに!?
プル
プル
何いいいいいいい!?
大丈夫大丈夫問題な
ザ
ぶヴォあ
ぽぉ
重傷――!!
ザワ
保健委員ー!! こいつを保健室に!!
会長…すぐに履かせるから
能力で王寺が事故らなかったことに…
ヒソ
ヒソ
…………

代役を立てましょう
誰もぇっ
僕はまだ演れるんだもの
代役――!?
え…!? どうしてそんなリスクを…!?
この舞台絶対失敗させたくないハズじゃ――
開始までまだ一時間あるわ
ギリギリかもしれないけれどまだ間に合うはずよ
いやでも…誰が王子役を!? みんな自分の役で手一杯じゃ…
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
そうね…
だからこうするのはどうかしら

白田君

あなたよ

遠い昔
とある国――
辺境の森のお屋敷に
エラという
美しい娘が
住んでおりました
たかねちゃん
こっち
見てー
きゃーっ
高嶺ちゃーん!
やめなさいな
恥ずかしい
第28話
私だけを見なさい

次暗転したらセットチェンジ2番ね

出演者はスタンバイしてー

心優しい両親から惜しみない愛を受け幸せな生活を送っていたエラ…しかしその日々は唐突に終わりを迎えました――

は…始まってしまった…!

ドド

ドド

白田君

会長の鶴の一声で王子の代役に抜擢され…

あなたよ

練習と呼べるものはたった2回の台本読みだけ…

とにかくまずは
最初のセリフ――

王子
舞台上手から
デレラを目にし、感嘆した感じ
「美しい御方、ぜひ私に、ダンスをご一緒する栄誉を」
シンデレラに頭を下
手を差し出し

これを噛まずに言う事だけに
集中しよう…!

まずい茶だねぇッ
淹れ直しな!!
きゃあっ
ごっ
ごめんなさい…
ザワ
ザワ
ザワ

父の再婚相手は
父が亡くなると
エラに
辛く当たるように
なりました
ザワ
ザワ
その扱いは
女中に対しても
憚られるような
苛虐なものでした

もっとやr…
いや許せねえッ
継母めっっ
おお
お
なんだこいつら…

許せねーっ
おい
ドキ
ドキ
ドキ

演出やりすぎかと
思ったけど
ウケてるな…！
よしっ
会長がここまで
すりゃあ
もう釘付けだろ
ブツ
ブツ
「美しい御方 どうか私に
ダンスをご一緒する
栄誉を」…「美しい御方」…

エラ 舞踏会の間留守番を頼んだわよ
え…？私も連れていってくれるって…
嘘に決まっているでしょう？大体何を着ていくというの
ああ 母親の形見とか言っていた古臭いドレスなら暖炉にくべておいたわよ
シ・ン・デ・レ・ラにはお似合いでしょう？
そ…そんな!?なんてことを…!!
王子が主催する舞踏会――
そこに参加できるなら日々の苦しみも耐えられる――…
エラはそう思っていました
それなのに――

ああ――
神様
一夜限りの夢さえ〜く
見ること叶わないなら
日々の悪夢〜く
いつ覚めるのでしょうか
涙をお拭きなさい
シンデレラ――
私は妖精
フェアリー・ゴッデス…
あなたの日々の行い
見ていましたよ
こ…これは…？
貴方の願い
叶えましょう――
あああ…
もうすぐ出番だ…!!
次 舞踏会の
セット準備してー

シンデレラ しかし
これだけは忘れてはいけません
魔法は12時の鐘の音と共に
消えてしまいます――
会長のドレス着替え
急いで!
了解!
いよいよだな白木
頑張れよ!
うっ…うん…
ひぃいいい…心臓が口から出そうだあぁ…!!
白田君
ドキン
うぁいっ!?

楽しみましょう。

今年は高校生活最後の大掛かりな文化祭――
だから楽しみたいって。
楽しみましょう!!
えー皆さま
ご静粛に
ザワ
ザワ
ザワ
王子様のお出でございます
王子登場!
Go!
僕はそのサポートがしたい
その第一歩として――最初のセリフを噛まずに言う…それだけでいいんだ!

セリフ…なんだっけ……!?

ざわ
ざわ
ざわ
…本当だ…
会長のサポートどころか
セリフ一つ出ない――
むしろ足を引っ張ってるだけだ
ざわ
ざわ
おいっ白木！
どうした⁉
しっかりしろ！
舞台ぶち壊す気か⁉
ざわ
ざわ
やっぱり僕なんかに
王子は務まら
なかった…
じわ…

っ!?
な――!?

シンデレラ しかし
これだけは忘れてはいけません
魔法は12時の鐘の音と共に
消えてしまいます――
会長のドレス着替え
急いで！
了解！
舞踏会の直前まで
戻したのか――…
ごめんなさい
30秒だけ
繋いでもらえる？
わかった！
白田君
ちょっといいかしら？
はっはいっ!!

何かしら？さっきの体たらくは
ひぃいいいっ！
やっぱり怒ってる…!!
す…すみません…
私の舞台に泥を塗るつもり？
いい？ひとつアドバイスしてあげるわ
は…はい…！

どうして周囲の反応を気にする必要があるのかしら？
あなたの演技なんて誰も期待してないし
フイ
そもそも気にも留めていないわ
背景セットの絵の具のシミの方がまだ目に留まるわよ
アドバイスってどういう意味だっけ…
ちら

…というか。私を差し置いて
他所に気が向いているなんて むしろ余裕があるんじゃない？
生意気だわ
…？
ガチャ…
会長っ出番！
ありがとう すぐ行くわ
要するに
あなたは誰からも何に於いても期待されてないのだから

無駄に気負わず
他人なんて気にせず

私だけを見なさい
おおおー
おお…なんと美しいご令嬢か
さぞ高名な家のご息女とお見受けした
っ
王子登場！Go！

会長の言葉は
いつも通りトゲだらけだった

けれど

その「いつも通り」の――
その言葉の内にある
優しさが 僕に
安心感を与えてくれた

それに――
何よりも
美しき御方
どうか
ダンスをご一緒する
栄誉を私に
この時 すらりと
言葉が出てきたのは きっと――

喜んで
それが演技ではなかったからだと
今になって思うのだ

履いてください、
鷹峰さん

Haitekudasai Takaminesan

美しき御方
どうかダンスをご一緒する栄誉を私に
第29話 真実は心にしまって

喜んで

言い…言えた…

緊張で頭が真っ白になり衆人環視の中での演技は無理だと心折れかけていたのだが――
会長の激励(?)のおかげでなんとか最初のシーンをこなせたのだった
私だけを見なさい

ええと…この後の流れは──
1. 舞台暗転ののち
会長にピンスポット
2. 会長の独唱
その後再び舞台暗転
3. 照明点灯ののち
舞踏会ダンスシーン
だったよな
照明が点くまではこのまま待機──
──?

!?
ドドド
な…おおお
お尻…!?
それにこの
周りの布…
まさか…

会長のスカートの中!?
この状況で履かせろと!?
いやでも替えの下着持ってきてないよ…!
——決して多くは〜
望まないわ——

ポケットの中――
一つかみのような～
わずかな希望――
どうか
鐘の音よ
今夜だけは
息を潜めて～
……っ
ポケットの中……っ

わずかな希望――!?

確かに
舞台上でSPというのは
マズすぎる…
というか僕的にも
目に毒すぎるし…
ドキ
ドキ
ドキ
もう二度舞台が
明るくなる前に…
会長の独唱中に
履かせないと…!?

サイドが紐のタイプでよかった……
いくらか履かせやすいぞ……
ああ――
愛しの人よ――
ち…ちょっ……
動かないで……
私だけを見て――
二人だけの世界へ～
コ
コ
コッ
のそ
のそ

けれど知っているの～
これは過ぎた夢～
クルクルクルクル
だからこの秘めた想い～
シャカシャカシャカシャカ
うおおおお!!

わあああああ——!!
決して覗かないで——
パチパチ
パチパチ
キュッ

――その後は
会長のリードと

お待ちください!

どうか…どうか
追わないで…!

「舞台上でパンツを履かせる」
という荒業によって
緊張が吹き飛んだことにより

なんとか
無事に進行することが
できた

そしていよいよクライマックス――
ここの娘は召使同然の灰被りという卑しき女…王子様の思い人であるはずは――
身分などは関係ありません
この靴に合う足の持ち主こそ我が愛しの人――
シンデレラ 私に履かせていただけないでしょうか

あれ？衣装の予備誰か持ち出した？
え？それなら今――
大団円を迎える――
まさか舞台上で履かせるのが二度目とは誰も思っていないでしょうね
ヒソ…
ちょ ちょっと…静かに…！
ワスッ
…と思われたのだが
待てえええええええええええええ!!
!?

その王子は偽者だああああ!!

…は……!?

えええ!?
王子が暴走した!
お…王子が二人…!?
どういうこと…!?
えええええ——!?
なんとかアドリブで対応して!!
順応はやっ!!
シンデレラ! そのような民度の低い男に手を触れさせてはいけません!
ビビッ
民度の低い!?

ご覧ください
彼の汚れた手を!
それに比べ僕は
この日のため一週間
ハンドクリームを塗り込み
爪も磨き上げました!!
貴方のおみ足に
触れる準備は
万端です!!
ヤ…
!?
まさか…王手…

会長が大事にしていた高校最後の賑やかな文化祭を…
そんな私欲のためにぶち壊そうっていうのか…⁉

ああ―
どうか争わないでください
私を本当に愛してくれるというのなら――
渡しません
え――？
あなたが本当の王子だとしても――僕が平民だとしても
自分のことばかり我を通そうとして彼女のことを考えられない人に
彼女を幸せにすることはできないと思います

彼女は渡しません
僕が幸せにします

コウちゃんかっけ〜!!
ワイ
キャ
コウちゃんしか勝たん
ワイワイ
だから
やめなさいって
恥ずかしい

なんかわからんが
いい感じだ!
この文章
ナレーション頼む!

突如現れた
本物の王子と それに
真っ向から立ち向かう
偽りの王子！

果たして
シンデレラはどちらの――

ワアァァァ!?
…え…か…会…
ドドド…
フ
さあ、行きましょう

ザッ
ザッ
は はい…
って どこへ…⁉
ザッ
待ってください会ちょ…
シンデレラ!
この靴は…
ザッ
差し上げるわ

ア
ア
ア
ア
ア
ア

み　靴も
身分も
関係ない！
シンデレラは
本当の愛を
手に入れたのでした！
パチ
パチ
パチパチ
──その後
劇は無事に…むしろ
「後半の展開が新鮮」と評判になり
大成功のうちに終わった
午後の公演も
乱入頼むぜ
え!?
あ…ああ…
そして…
それよりも
クラスメイト達の
関心事だったのが──
と　ところで
会長…

あれはあの場を収拾しようと思ってフリをしただけよ
でも恥ずかしいからあまり言わないで頂戴？
あ そっそーだよね！よかった〜

う…うん
ともあれ
この年の文化祭は
僕にとって
生涯忘れられない
ものとなったのだった

履いてください、鷹峰さん

Haitekudasai Takaminesan

文化祭を終えた翌週…会長宅での勉強会で——
そういえば白田君
あなた文化祭の出し物何に希望を出していたの？
第30話 ご主人様を癒して差し上げます

え…何に…ですか？
ん——…正直「特になし」で提出したんだけど…
そう言ったら「積極性が無い」とか怒られるかな…？

そうね当ててあげるわ。少し待っていなさい
？はい——
スッ

数分後
ガチャ
お待たせ

これでしょう？
メイドーン
どれってメイド喫茶よ
メイド衣装は持っていなかったからメイドビキニで代用しました。
どうしてビキニの方は持ってるんです⁉
どれ⁉
というか 僕は別にメイド喫茶に投票してないんだけど…
あら…本当かしら？

普段虐げられている
鬱憤を晴らしたくて
私をメイドに仕立てて
頭立つ絶好のチャンス！
と期待して
いたんじゃない？
本当に？
普段妄想で私を性奴隷として
扱っている人が言っても
説得力が無いわね。
そんな陰険なコト
考えてませんよ！
ていうか
虐げてる自覚あったんですね…
だから
考えてないですって!!
まあ
そういうこと
だから――
どういうこと!?

着替えたついでに今日は私がメイドとして傅いてご主人様気分を堪能させてあげるわ。
い…いやそんな悪いよ…
というかこんな格好でふらふらされちゃ目のやり場が――
私のご奉仕が受けられないとでも言うのですか？ご主人様
まぁ 文化祭のアドリブも及第点だったし…そのご褒美も兼ねて――ね？
奉仕の押し売り!?

それでは
早速ですが
マッサージなど
いかがでしょう？
誠心誠意
じっくりと
ゆっくりと…
この身体を以て
マッサージ？
ええ 勉強に
励まれていましたから
お疲れでしょう？
ゆ
ん
ご主人様を
癒して差し上げます…♥
ちょ…
ドキ
ドキ
ど どんな
マッサージを
する気で…!?

ギュ…
ギュ…
ギュ…

骨盤に若干歪みが見られますね。普段から姿勢にはお気を付けください。
ギュ…
思ったより本格的なマッサージだった…
はい…
ギ…

次は肩を施術いたしますね。
う…うん

…いかがしました?何やら不服気な声色ですが…
え!?いッいや…そんなコトは…

…ああ
ニヤ…
もしかして――

ご主人様はそういったマッサージをご所望で――？
え？

――!?

ご主人様はもっと刺激的で――
思わず声の漏れてしまうような――
そんなマッサージがご希望だったのですね…？
ドド…
ドド…
ちょ…ま…まさか会長…

は…裸でマッサージを…!?
まッ待って!
冗談でも
それはやりすぎ——

ほぐし玄人
ほぐし玄人
集中してマッサージをするために着替えただけなのですが…どうされました？
ゴリッ
いだだだだだだだだ
刺激的で思わず声が出ちゃう――!?

さっきの良からぬ妄想のせいで… 大変なことに…!

コレを見られたら…絶対に軽蔑される……!!

もう十分してもらったから… 終わりで大丈夫です

何を仰いますメイドに遠慮など不要にございます
わあぁ!? いいいやホントに大丈夫ですから!!
私の施術が受けられないと…?
グイ グイ
ちがッ そ そういうワケじゃなくて! ちょ…ッ

……
白田君――
き…気付かれた…!!
終わっ――
ド…ド…
ド…ド…

ほぐしてあげていたのにカタくなっているじゃないっ？
ドドドド
私のマッサージが気持ちよすぎて克己復礼も勃起失礼堅忍不抜もどこへやら一発ヌイてといった有様じゃない
何言ってるのこの人――!?
まあ気に病むことはないわ白田君
むしろ私ほどの美少女にマッサージされ即暴発しなかっただけ立派というものよ？
あっはっはーはー
ゆ…許された…!?
けどなんかテンションおかしいような…

……気付けばもういい時間ね
今日はこのくらいに――
――っ!?
ズリ…
ドッ
あぶな――
!!
ガッ

大丈夫ですか⁉
え…
ええ…
…って——

ス…
!!!…
すすすいませんッ
わッ わざとじゃ なくて…っ
……

スッ

はあ…

何をそこまでヒステリックな反応をしているの…局部を服越しに触れたくらいで

そんな些末なことで騒ぎ立てないで頂戴。

なんか変な雰囲気で終わっちゃったな……
学校で会うのが気まずいぞ……
……いや……

ドキドキドキ

モヤ
はぁ〜
モヤ
この日はいろいろなことが起こりすぎてモヤモヤの根源がなんなのか…そこまでの考えが及ばなかったのだった

履いてください、
鷹峰さん

Haitekudasai
Takaminesan

朝 教室に入ると挨拶してもらえて——

おっすー
白田

帰り際も 声を掛けてもらえるんです!
しかも名前を間違われずに!

じゃーなー
白田ー

……

第31話 無かったことにしないで

「凄いことが起きてる」から始まったとは思えないほど激弱なエピソードトークで辟易しているのだけれど…
いや 凄いことですよ! 今まで僕 誰かから声掛けられるなんてほぼ無かったし
それに たまに声かけられても 白木とか白井とか呼ばれてたんですよ!?
一応 何が凄いのか聞いておいた方が良いのかしら?
「文化祭のアドリブが良かった」って褒めてくれる人もいて
思うに 文化祭をキッカケに皆 僕のことを認知し始めてくれたのかなーと

思うんですけど
ちーーん
ああ 御免なさい
一応我慢して聞いていたのだけれど
あまり面白くならなそうだったから
鼻をかんでしまったわ
そうですか…
風邪ですか？
大丈夫です？
ええ——
ちょっとね
処方せん受付

昨日お風呂上りに全裸で上段回し蹴りの練習をしていて身体を冷やしてしまったみたいなの
つっこむべき箇所が多岐に渡るんですが…
まああなたの話を要約すると
存在感ゼロのCO_2人間がようやくヒトとして認識され始めたという普通に生活している人からしたら会話の繋ぎにもならないような掛け値無しの駄話だけれど…
もう少し優しい約し方をしてくれてもいいんじゃ…

…まあ でも――白田君にとっては飛躍的前進よね
交友関係を広げる良い機会なのだから…
大切になさいね
…う うん…
ありがとう

休み時間——

くちゅんっ

ガヤ
ガヤ
会長カゼ？
ええ
お風呂上がりにストレッチしていたらちょっとね
会長でもめずらし風邪ひくんだ！——
ガヤ

ふふっ
人をロボットか何かみたいに——
ガヤ
おーい
白田～
ガヤ

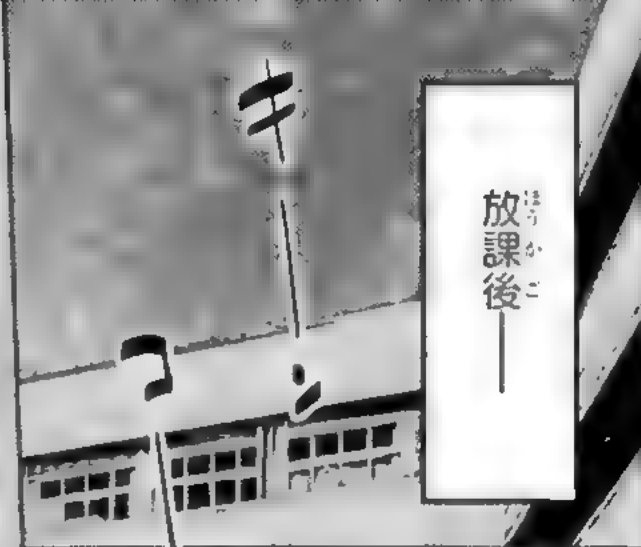
明日の土曜
こいつらとカラオケ行くんだけど
お前も来ない？
ガヤガヤ
えっ僕!?
何で…
何でって…
特に理由無いけど
ガヤガヤ

放課後――
キーンコーン
校舎の中でも寒いなぁ…
早く帰ってあったまって…
白田君
話があるのだけれど

何でしょう？
ピーーーッ
はいダッシュー…

カラオケに行きなさい

…はい？
昼男子達に誘われていたでしょう？
ああ聞こえてたんですか…いや断ったんですよ
明日は勉強会だから

ドッ……
行かないと死ぬわよ
はい――!?

「誘い」を断ったことで「付き合いの悪い人間」と判断された白田孝志は再び空気のような扱いを受ける――

今までなら耐えられた… しかし承認欲求の芽生えた彼にとって その限りではなかった――

今まで ありがとうございました 全財産あげます。

絶望した彼は「あの時カラオケに行っていれば…」と後悔しながら――

飛躍しすぎじゃないですか!?

例えばの話よ そのくらいの意気込みで臨めと言っているの

あなたにとって交友関係を広げるまたとない機会でしょう

いえ…逆に
ディスアドバンテージ
だったのかもしれないわね…
私という圧倒的な輝きを放つ
神々しい存在が近づきすぎたせいで
塵にも等しい白田君の存在感を
消し飛ばしてしまっていたのかも…
は　はあ…
…と言われても
先に予定が入ってたのは
会長との勉強会だし…
それにもう断っちゃったし

まったく…
日和見主義も
甚だしいわね…
はあ…
未だ穢れ知らぬ乙女――！
!?

…？何を無かったことにしたんです…⁉
キョロ
キョロ
スケジュール表を御覧なさい

勉強会の予定を入れなかったことにしたわ
〈10月
日 月 火 水 木 金 土
31 1 2 3 4 5 6
勉強会
口頭で済んだのでは⁉

これでうじうじと憂き身を窶す必要も無いでしょう
わかったら明日は——
……は……は……
くちゅんっ
大丈夫ですか…？
——まあそういうコトよ

私も風邪気味だから勉強会は中止にしたかったのよ

みなまで言われずとも察しなさいな鈍田君

ち〜ん

う…うん

鷹峰
翌日――
――はあ…
私としたことが
ここまで悪化させてしまうなんて…
こうなるなら
小間使いに彼を
呼んでおくべきだったかしら
はあ…
ナ〜〜
ふふ
冗談よ クロ

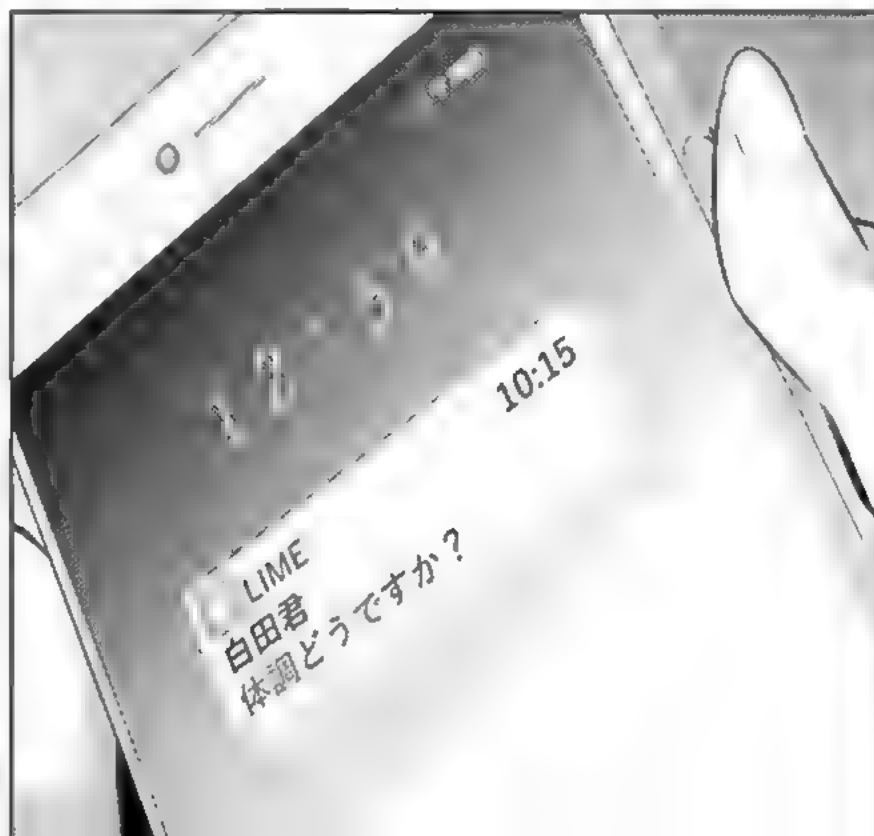
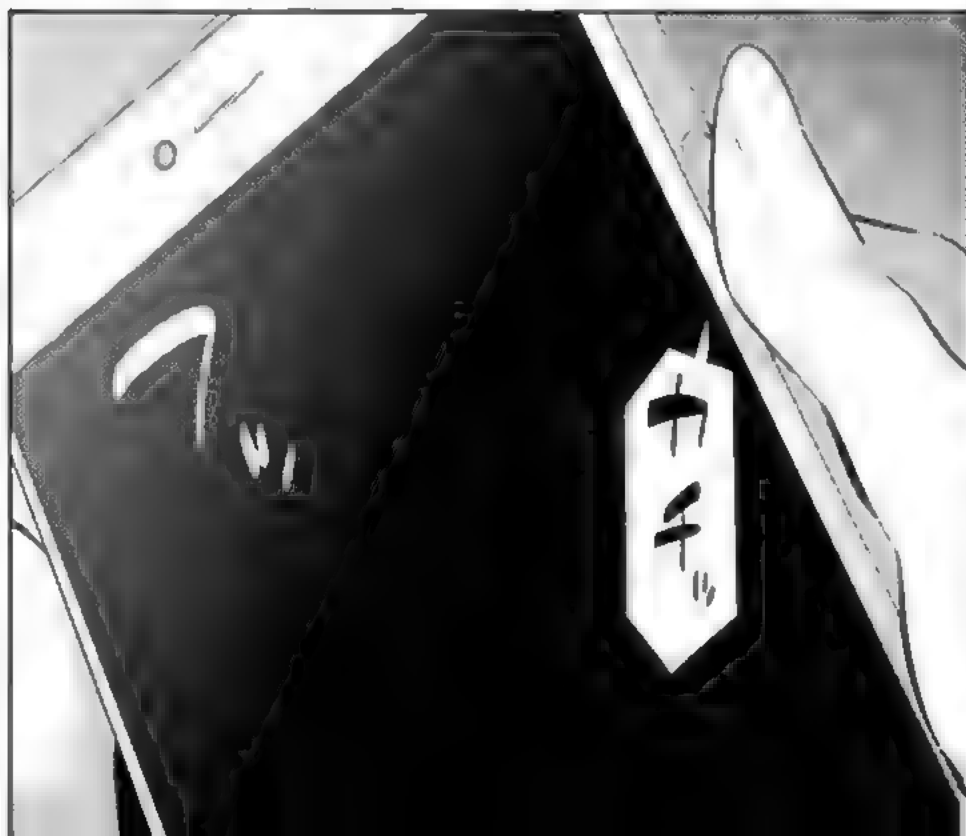
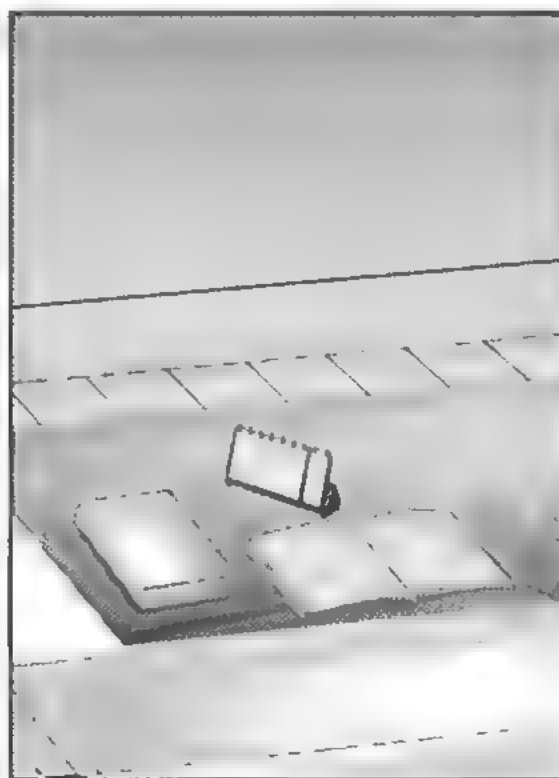
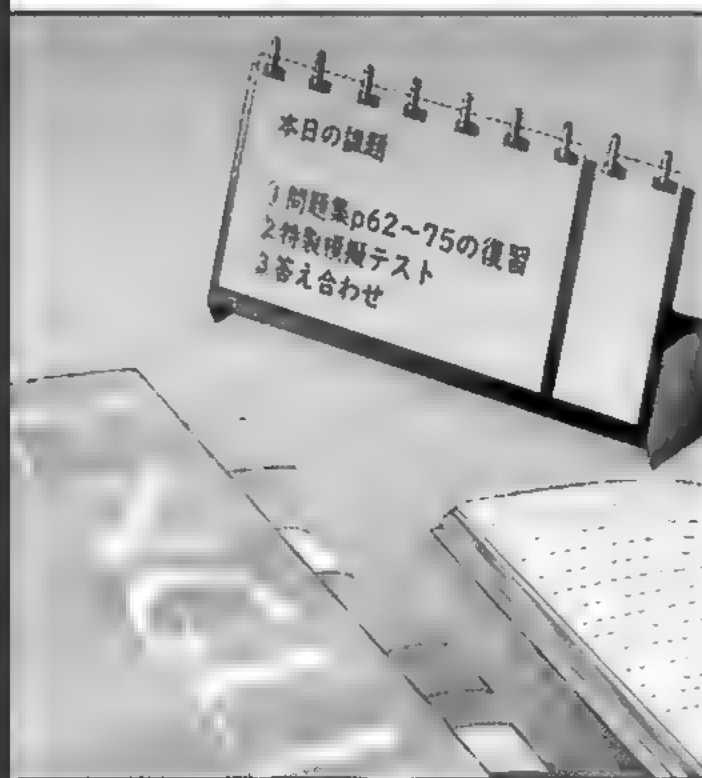
10:15
LIME
白田君
体調どうですか？
フッ
カチッ

ふう…

本日の課題
1 問題集p62~75の復習
2 特製模擬テスト
3 答え合わせ

……

こんにちはー
体調はどうですか?
…って熱あるんじゃ!?
大丈夫です!?

とりあえず
上がりなさい…

やっぱり最初に予定が入ってたのは勉強会だったし…というのは口実で…

LIMEの返信が無かったからもしかしたら風邪が悪化したのかもと…お見舞いも兼ねて

あこれ温かい飲み物と一応買ってきた風邪薬なんですけど…

はあ…

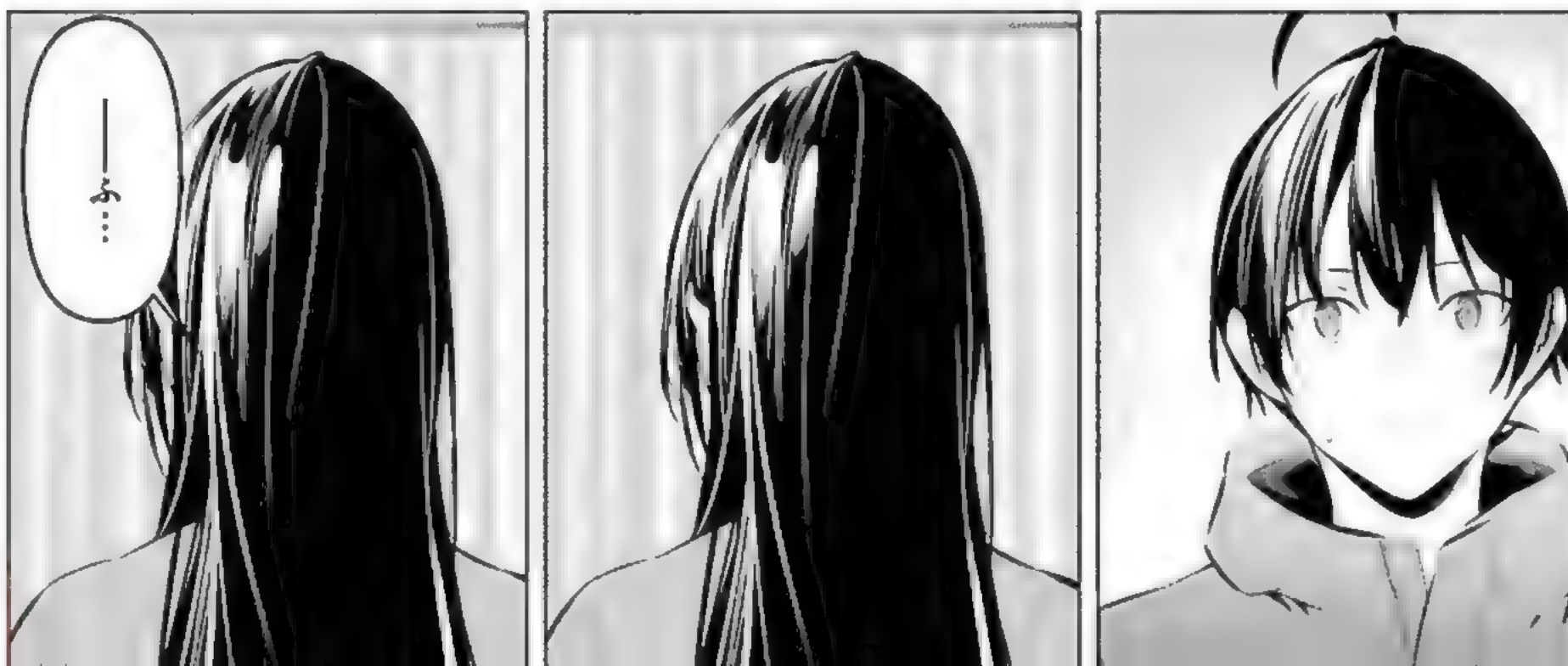
来るなというのが伝わっていなかったのかしら…？

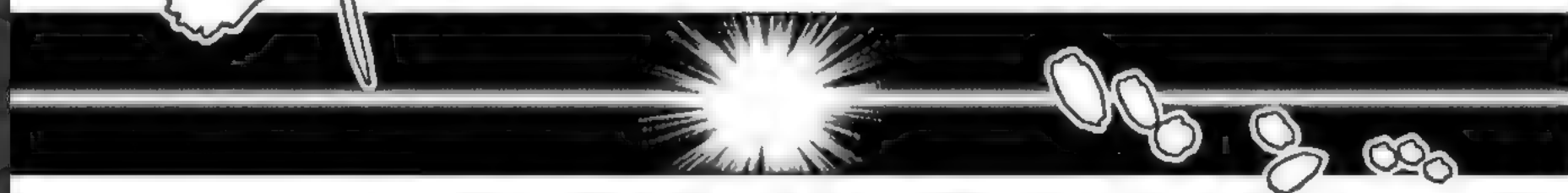
未だ穢れ知らぬ――
!!
待っ――

ピ
待ってください!!
話を――…
わああっごごごごめんなさいッッ!!
ばっ
フイッ
…っべ別に何とも?
それよりも話って何かしら
あ はっはいっ!
DL-Ra

でも もとを辿れば それは会長が背中を推してくれて 活躍の機会を作ってくれたからで
少しは積極的に楽しめるでしょう
白田君、
あなたよ
私だけを見なさい
会長がいなかったら 誰かと遊びに行くなんてあり得なかったから

会長は日和見主義って言ってたけど
そうじゃなくて
友達作りよりも大事だって思ったからここに来たんです
…！
だから――
今日ここに来たことを
〝無かったこと〟にしてほしくないんです

会長の方が大事だと思ったから…

合格よ
実は今までのコト すべて テストだったのよね
友人とクローゼット どちらを優先するか… というね
…へ？
えええー!?
最近 浮き立っていたから クローゼットとしての本分を 忘れているんじゃないかと 気を揉んでいたけれど…
思い過ごしだったようね？ よろしいよろしい
そ そんなコトのために 今まで芝居を…!?
まあ 骨は折れたけれど… 安心したわ

よくできました…といったところかしら？
クロ田君♥
こ…この人…
油断ならねぇー！
——さて
クローゼットの動作確認も済んだところだし…
？

未だ穢れ知らぬ乙女——!!
!?
は
…?
何を“無かったこと”にしたんです…?

「全裸で上段回し蹴りの練習」をしなかったことにしたの。結果として風邪をひかなかったことになったわ
な…なるほど？
さて…それじゃあ、
シュル
っ!?ちょちょっ 何やってるんですか!!
w.Ne

何って着替えよ。
カラオケに行くためのね

私も
参加するわ

へ？ 会長もカラオケに…!?

何 その
腑抜けた反応は
あなたのために
参加するのよ？

僕のため…？

履いてください、鷹峰さん5 おわり

あとがき

この度は「鷹峰さん」五巻を手に取っていただきありがとうございます！

と言うことで、文化祭編、無事終了いたしました！
楽しんでいただけたでしょうか？
個人的に印象に残ったのは、会長のドレス姿です。
衣装のフリルが多すぎて、
描いても描いても終わらず
「なんでこんなデザインにしたん…」と
本気で涙が出てきたことを覚えています(笑)
ティアラの３Dモデルを公開されている方がおり、
これには本当に助けられました。
これを手書きでやってたらと思うと
ゾッとします…。
しかし、喉元過ぎれば何とやらで、
見返すとやはりこのデザインで良かったかな、と
思えています。

衣装と言えば、
会長の冬服はダッフルコートになりました。
印刷では白ですが、
イメージとしては明るいグレージュです。
また、次巻に関しては
クリスマス回が控えている予定でして、
色々な私服姿を描けたらな～と思っています。

さて、コロナに関してですが
都内の感染者数も減少傾向を見せており、
なんだか光が見えてきたかな～と思いつつも、
やはりかつての日常にはまだまだ…という状況かと思います。
いつかまた、サイン会などで読者の方と交流が持てればいいな～と
ぼんやり思うのですが、気を緩めず引き締めて参りたいと思います。

それでは、また次巻でお会いできれば幸いです!!

柊裕一

Special Thanks

中川様
内田様
担当編集湯本様
並びに編集部の皆様

&YOU!!

冬休みも近づいてきたある日…

ええ、もちろん。もし白田君が全教科…平均点＋10点を取れたなら…

ゴ゛ィバのクリスマスケーキをホールでいただこうかしら♥

…へ？僕かプレゼントするの…？

次巻予告

haite kudasai takamine san

期末テストで白田くんに課題が！

白田くんの思考を読み取ってみるという会長ですが

クリスマスにかこつけて全裸ラッピングで「プレゼントはわ・た・し♥」的なものを期待していた…と。

え？なになに…？それに加えて…？

いや考えてないですよ!?

あ あの…

会長のリーディングが
ことごとく…!!!
白田くん、
こんなこと考えてたの!?

さらに
課題達成できないと
ペナルティが!?
期末試験後、白田くん、
どうなってしまうの
でしょうか？

履いてください、
鷹峰さん⑥

2022年初夏

発売予定

※単行本発売時のまま収録しています。

デジタル版　Ver.1.00

ガンガンコミックスJOKER

履いてください、鷹峰さん

5

2021年11月22日　Ver.1.00発行

著者
柊裕一

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

装幀
前川真吾（バナナグローブスタジオ）

初出／月刊ガンガンJOKER
2021年3月号、4月号、6月号～9月号掲載

EXTRA CONTENTS ¦¦ カバー折り返し

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

EXTRA CONTENTS ¦¦ 表紙 表

※コミックス発売時の表紙 表を収録

EXTRA CONTENTS ‼ 表紙 裏

※コミックス発売時の表紙 裏を収録

EXTRA CONTENTS ⁞⁞ カバー裏

※コミックス発売時のカバー裏を収録